

Express5800/56Wd(N8700-155,156,157,165,166,167,175,176,177) OS 変更手順書 (Windows 2000 Professional)

はじめに

本装置は、出荷後最初に電源を ON すると Microsoft® Windows® 2000 Professional (以降 Windows 2000)/ Microsoft® Windows NT®4.0 Workstation(以降 Windows NT4.0)のどちらかを選択してセットアップすることが出来ますが、この時選択しなかったオペレーティングシステムをインストールする場合は、別途オペレーティングシステムを購入する必要があります。

本書は、別途購入したオペレーティングシステムの CD-ROM 媒体を使用して、システムをセットアップする際の手順を記述しています。

注意事項

セットアップをはじめる前にここで説明する注意事項をよく読んでください。

システムのアップデートについて

Express5800 のシステム構成を変更したときは、必ず Express5800 に添付の CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」からアップデートモジュールを展開し、適用してください。詳しくは、後述の「システムのアップデート」を参照してください。

ディスク構成について

ディスク領域に、「MAINTEN_P」と表示された領域が存在する場合があります。構成情報やユーティリティを保存するための保守用パーティションです。削除しないでください。

MO 装置の接続について

Windows 2000 をインストールするときに MO 装置を接続したまま作業を行なうと、インストールに失敗することがあります。MO 装置を外してインストールを最初からやり直してください。

作成するパーティションサイズについて

システムをインストールするパーティションの必要最小限のサイズは、次の計算式から求めることができます。

$$\begin{array}{lcl} 1000\text{MB} + \text{ページングファイルサイズ} + \text{ダンプファイルサイズ} & & \\ 1000\text{MB} & = & \text{インストールに必要なサイズ} \\ \text{ページングファイルサイズ(推奨)} & = & \text{搭載メモリサイズ} \times 1.5 \\ \text{ダンプファイルサイズ} & = & \text{搭載メモリサイズ} + 12\text{MB} \end{array}$$

重要 ページングファイルサイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報を採取できない場合があります。

例えば、搭載メモリサイズが 512MB の場合、必要最小限のパーティションサイズは、上記の計算方法から

$$1000\text{MB} + (512\text{MB} \times 1.5) + (512\text{MB} + 12\text{MB}) = 2292\text{MB}$$

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ」+「ページングファイルサイズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。

ダンプファイルサイズを確保できない場合は、次のように複数のディスクに割り振ることで解決できます。

- (1) 「インストールに必要なサイズ」 + 「ページングファイルサイズ」を設定する。
- (2) ユーザーズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分)を別のディスクに書き込むように設定する。

(ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合はインストールに「必要なサイズ」+「ページングファイルサイズ」でインストール後、新しいディスクを増設してください。)

ソフトウェア電源アンインストールについて

Windows NT 4.0 から Windows 2000 にアップグレードする場合は、あらかじめソフトウェア電源モジュールをアンインストールする必要があります。

以下に操作手順を示します。

- (1) コマンドプロンプトを開く。

- (2) 「powerdel」と入力してリターンキーを押す。

以下のメッセージが表示されます。

「ソフトウェア電源モジュールは Windows 2000 Upgrade に先だって
アンインストールする必要があります。
ソフトウェア電源モジュールのアンインストールを開始しますか(Y/N)?」

- (3) アンインストールを行う場合は、<Y>キーを押してから、<Enter>キーを押す。

アンインストールが開始されます。

<Y>キー以外を入力するとアンインストールは中断されます。また、ESMPRO/ServerAgent
をインストールしていた場合は、以下のメッセージが表示されます。

「このシステムではソフトウェア電源モジュールは
ESMPRO/ServerAgent とファイルを共有しています。ソフトウェア電
源モジュールのアンインストールの前に、まず
ESMPRO/ServerAgent をアンインストールしてください。その後必ず
OS を再起動してから再度ソフトウェア電源モジュールのアンインス
トールを実行してください。」

メッセージに従って ESMPRO/ServerAgent をアンインストールして再起動後にソフトウェア
電源モジュールをアンインストールしてください。

- (4) アンインストール終了後、システムを再起動する。

オペレーティングシステムのセットアップ

Windows 2000 の CD-ROM を使用してセットアップする手順を次に示します。

オペレーティングシステムのインストールに必要なもの

作業をはじめる前に次のディスクや説明書を用意します。

- ☐ EXPRESSBUILDER (CD-ROM)
- ☐ Windows 2000 (CD-ROM)
- ☐ クイックスタートガイド
- ☐ ユーザーズガイド

Windows 2000 のインストール

次の手順に従ってインストールします。インストールは、「新規インストール」と Windows NT 4.0 がインストールされている装置を Windows 2000 にする「アップグレードインストール」の 2 つの方法があります。

新規インストール

- 1 システムの電源を ON にする。
- 2 Express ワークステーションの CD-ROM ドライブに Windows 2000 CD-ROM をセットする。

画面に POST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます(「NEC」ロゴが表示された場合は<ESC>キーを押してください)。しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

- 3 <F2>キーを押し、BIOS SETUP ユーティリティを起動する。
- 4 「Advanced」メニューの「Advanced」の「Installed O/S」を「PnP O/S」に設定する。
- 5 「Exit」メニューの「Save Changes &Exit」を選択した後、[Yes]を選択し、システムを再起動させる。

重要!! ハードディスク上に起動可能な OS がインストール済の場合は、画面上部に「Press anykey to boot from CD...」が表示がされている間に<Enter>キーを押してください。起動可能な OS が存在しない場合は不要です。

Windows 2000 のセットアップ画面が表示されますので、メッセージに従って作業を続けてください。

重要!! セットアップの途中で、Windows 2000 をインストールするパーティションを設定する画面が表示されます。この時にハードディスクの先頭に表示される 16MB の領域は、Express5800 特有の構成情報や専用のユーティリティを保存するために使用されるパーティションです。

以降、自動的にシステムが再起動され、Windows 2000 セットアップウィザードが起動します。Windows 2000 セットアップウィザード各項目の詳細については、「クイックスタートガイド」を参照してください。

- 6 インストール終了後、後述の「システムのアップデート」および、「ドライバのインストールと詳細設定」を参照して各種設定をする。

アップグレードインストール

Windows NT 4.0 がインストールされている装置を Windows 2000 にアップグレードする手順を次に示します。

- 1 システムの電源を ON にし、Windows NT 4.0 を起動する。

重要!! あらかじめソフトウェア電源モジュールをアンインストールする必要があります。手順は本書先頭の注意事項「ソフトウェア電源アンインストールについて」を参照してください。

- 2 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)でログオンする。
- 3 Express ワークステーションの CD-ROM ドライブに Windows 2000 CD-ROM をセットする。

以下のメッセージが表示されます。

この CD-ROM には現在使用している Windows より新しいバージョンが含まれています。 Windows 2000 にアップグレードしますか？
--

- 4 [はい]をクリックする。

アップグレードか新規インストールかを選択するダイアログボックスが表示されます。

- 5 「Windows 2000 にアップグレードする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックする。

「Windows 2000 ライセンス契約」が表示されます。

- 6 内容に同意する場合は、「同意します」をチェックし[次へ]をクリックする。

ファイルのコピー後、自動的に再起動します。

ヒント Windows 2000 CD-ROM は CD-ROM ドライブに挿入したままがかまいません。

画面に POST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます(「NEC」ロゴが表示された場合は<ESC>キーを押してください)。しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

- 7 <F2>キーを押し、BIOS SETUP ユーティリティを起動する。
 - 8 「Advanced」メニューの「Advanced」の「Installed O/S」を「PnP O/S」に設定する。
 - 9 「Exit」メニューの「Save Changes &Exit」を選択した後、[Yes]を選択し、システムを再起動させる。
- 再起動後、Windows 2000 のインストールが開始されます。
- 10 Windows 2000 インストール完了後、管理者権限のあるアカウント(administrator 等)でログオンする。
 - 11 後述の「システムのアップデート」および、「ドライバのインストールと詳細設定」を参照して各種設定をする。

アップデートモジュールの展開

システムをアップデートする前に、アップデートモジュールをハードディスク上に展開します。以下の手順でアップデートモジュールを展開し、以降の「システムのアップデート」および「ドライバのインストールと詳細設定」を実施してください。

ヒント 既にハードディスク上にアップデートモジュールを展開済みの場合は、展開しなおす必要はありません。

- 1 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンする。
- 2 CD-ROM「EXPRESSBUILDER」を CD-ROM ドライブにセットする。
マスターコントロールメニューが表示されますが、何もせず終了してください。
- 3 エクスプローラを起動し、<CD-ROM ドライブ>:\WINNT\W2K\W2KINST.EXE を実行する。
「Winzip Self-Extractor – W2KINST.EXE」ダイアログが表示されます。
- 4 [Unzip to folder]ボックスにアップデートモジュール展開先パス (例: C:\) を入力し、[Unzip]ボタンをクリックする。
指定したパスにモジュールが展開します。
上記例では、C:\NECINST 以下が展開されます。以降、このパスに展開したものとして記述します。
- 5 CD-ROM ドライブから「EXPRESSBUILDER」を取り出す。

システムのアップデート

システムのセットアップ完了後、必ず以下の手順でシステムをアップデートしてください。
ハードディスク上にアップデートモジュールを展開していない場合は、前項の「アップデートモジュールの展開」を参照し、アップデートモジュールを展開してください。

重要!! システム構成を変更した場合も再起動する前に必ずシステムのアップデートをしてください。
(システム構成を変更した後、再起動を促すダイアログボックスが表示される場合は[いいえ] ボタンをクリックし、システムをアップデートしてください。)
修復プロセスを使用してシステムを修復した場合も必ずシステムをアップデートしてください。

- 1 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンする。
- 2 Windows NT エクスプローラから、「C:\¥NECINST¥UPDATE¥update.exe」を実行する。
セットアップメッセージが表示されます。
メッセージに従ってアップデートを続行してください。
- 3 [コンピュータの再起動]ボタンをクリックしてシステムを再起動させる。

ドライバのインストールと詳細設定

システムをアップデートして再起動後、各種のドライバのインストールを行います。

・ネットワークドライバ

標準装備のネットワークドライバは、自動的にインストールされますが、転送速度と Duplex モードの設定が必要です。ユーザズガイドの「デバイスドライバのセットアップ」を参照して設定してください。

・グラフィックスアクセラレータドライバ(ディスプレイドライバ)

オプションのグラフィックスアクセラレータボードを使用する場合は、そのボードに添付されている説明書に従ってドライバをインストールしてください。必要に応じて各種設定を行なってください。

・3モードフロッピードライバ

Windows 2000 では2モードフロッピードライバが標準でインストールされます。3モードフロッピードライバを使用したい場合は、ユーザズガイドの「デバイスドライバのセットアップ」を参照してドライバをインストールしてください。

・サウンドドライバ

ユーザズガイドの「デバイスドライバのセットアップ」を参照してドライバをインストールしてください。

- ・ **その他のオプションのデバイスドライバ**

オプションのデバイスでドライバをインストールしていないものがある場合は、オプションに添付の説明書を参照してドライバをインストールして下さい。

障害処理のためのセットアップ

各種のドライバのインストール後、ユーザズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して障害処理のためのセットアップをして下さい。